

感染性疾患防止対策

1. 麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎について（必須）

以下の条件のいずれかを満たすこと

1. 抗体価判断基準（下表）で陽性である
2. 抗体価判断基準に応じて必要なワクチン接種歴がある
3. 抗体価に係わらず、2回のワクチン接種歴がある

※ アレルギー等によりワクチン接種ができない『接種不適応者』は、感染予防に十分注意すること（ハイリスク部署での実習を避ける等の調整を行う）

【抗体価判断基準】＜医療関係者のためのワクチンガイドライン（第2版）より＞

疾患名	抗体価		
	(-) 陰性	(±) 不十分な抗体価	(+) 陽性
麻疹	EIA法 (IgG) : <2.0 PA法 : <1:16 中和法 : <1:4	EIA法 (IgG) : 2.0~15.9 PA法 : 1:16, 32, 64, 128 中和法 : 1:4	EIA法 (IgG) : 16.0 以上 PA法 : 1:256 以上 中和法 : 1:8 以上
風疹	EIA法 (IgG) : <2.0 HI法 <1:8	EIA法 (IgG) : 2.0~7.9 HI法 : 1:8, 16	EIA法 (IgG) : 8.0 以上 HI法 : 1:32 以上
水痘	EIA法 (IgG) : <2.0 IAHA法 : <1:2 中和法 : <1:2	EIA法 (IgG) : 2.0~4.0 IAHA法 : 1:2 中和法 : 1:2	EIA法 (IgG) : 4.0 以上 IAHA法 : 1:4 以上 中和法 : 1:4 以上
流行性耳下腺炎	EIA法 (IgG) : <2.0	EIA法 (IgG) : 2.0~3.9	EIA法 (IgG) : 4.0 以上
必要なワクチン接種回数	2回	1回	不要

2. 結核について（必須）

以下の条件のいずれかを満たすこと

1. 過去1年以内に実施した胸部レントゲン検査の結果において、異常所見（結核の発症を示す所見）がない（結核を疑う所見を認める場合は、精密検査を受診し、適切な治療を行っていること）
2. 在学中に実施したIGRA（抗原特異的インターフェロン-γ遊離検査）の結果、「陰性」の証明がある（IGRAの結果が、「陽性」「判定保留」の場合は、画像検査結果で異常がないことの診断を受けること）

※ 実習・研修開始前1ヶ月以内に2週間以上続く咳、微熱等がみられた場合は、医療機関を受診し画像検査に異常がないことの診断を受けること。

3. 季節性インフルエンザについて（実習時期に応じて必須）

- ・ 12月～3月の実習については、インフルエンザワクチンを事前に接種すること

※ アレルギー等によりワクチン接種ができない『接種不適応者』は、感染予防に十分注意すること

4. B型肝炎について（任意）※ただし、血液・体液曝露のリスクがある実習・研修の場合は必須

- ・ HBs抗体が陽性（CLIA法：10mIU/mL以上）であることを推奨する。

※ 2シリーズのワクチン接種でも抗体陽性化が見られない場合は『ワクチン不応者』として血液体液曝露に際して厳重な注意と対応を行うこと。

5. その他

- ・ 病院実習時には体調管理、感染予防に十分注意し、発熱、発疹、呼吸器症状（咳・痰）、消化器症状（下痢・嘔吐）等の症状発現時には、病院実習を控えるなどの適切な対応を行うこと。

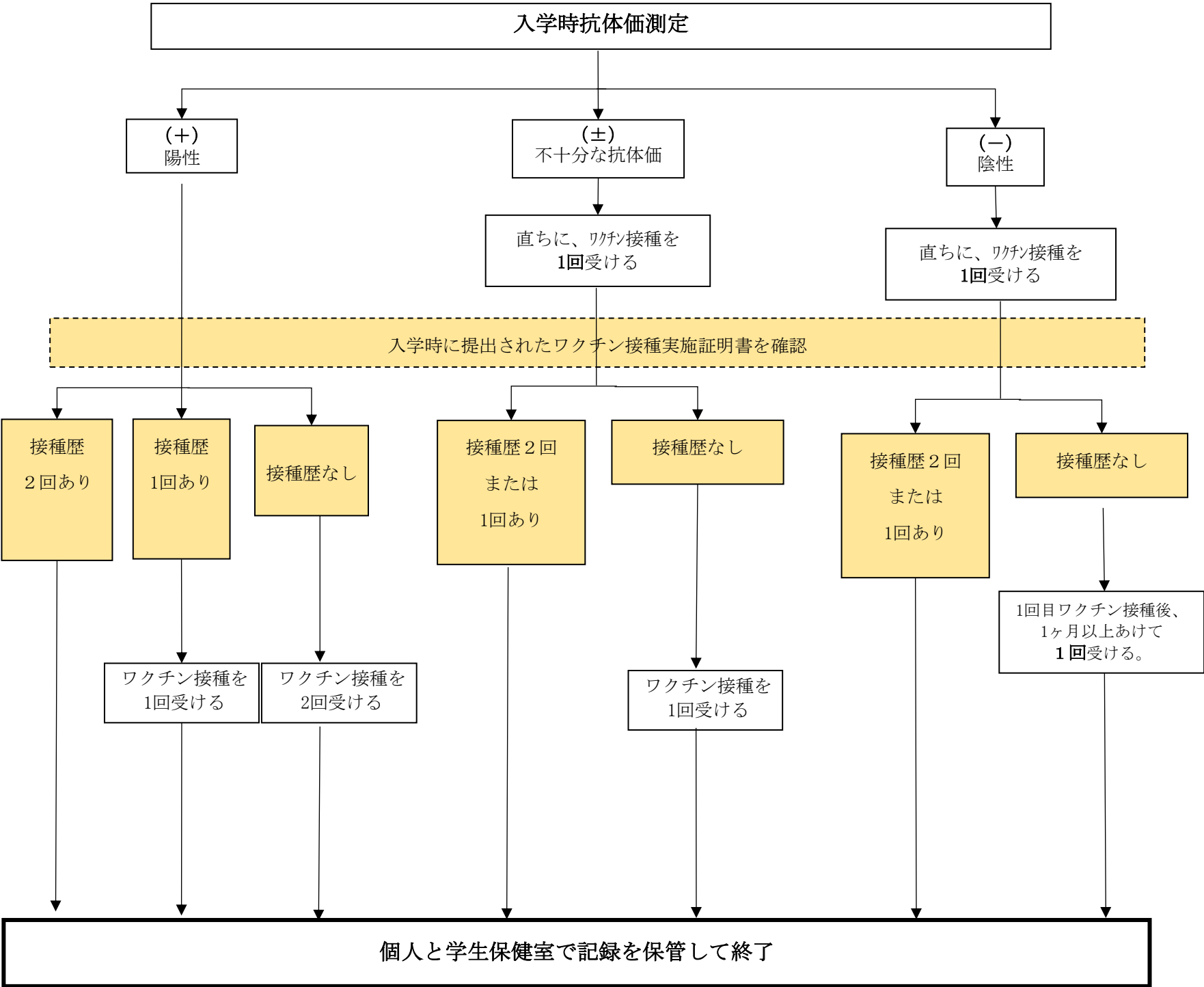
以上

2019.9

兵庫医科大学病院
学校法人兵庫医科大学保健管理センター

※感染予防策としてワクチンの2回接種を原則とする

※実習開始までに2回の接種歴を確認しワクチン接種をおえることが困難なため、全員に抗体価検査を実施する



疾患名	(-) 陰性	(±) 不十分な抗体価	(+) 陽性
麻疹	2.0未満	2.0以上16.0未満	16.0以上
風疹	2.0未満	2.0以上8.0未満	8.0以上
水痘	2.0未満	2.0以上4.0未満	4.0以上
ムンプス (流行性耳下腺炎)	2.0未満	2.0以上4.0未満	4.0以上

(抗体価測定法：EIA法)

※ワクチン接種実施証明書（ワクチン接種証明書
または母子手帳（写）など）の提出がない場合は
接種歴なしとして扱う

※今後のガイドラインの改訂に則って変更することもある。